

「総合」⑤ 省察を通して成長を実感する「T・Project」

本校では中3から、T・Projectが始まる。T・Projectとは、「桐朋女子におけるプロジェクト型探究」のことである。ここでは、生徒自らがプロジェクトの問いや最終ゴール、プロジェクトの価値を考える。また、生徒はT・Projectを通して、どのような力を身に付けたいのかを考える、ルーブリック評価表を作成し、振り返りを行う。

振り返りは、プロジェクトの成果に対する省察の場であり、生徒一人一人がプロジェクト前後の自身の成長を実感する機会となる。

T・Projectでは、主体的に学習を進める生徒を支える教員がいる。クラスの仲間も相談相手になる。生徒は、「目標をお互い共有し合ったり、具体的にどうするか自分の言葉で話したり、それを踏まえて相手が持っている考えを自分に投げ掛けてもら

たゴールに向かって学習を進める。今説明したことは、生徒に配布した「T・Project Logbook」の1ページに記載されている。生徒は、ログブックにある「過去の想起」で、幼少期からの自分を振り返り、気になっていたこ

歴図」で毎回の学習を振り返り、プロジェクトのゴールに向かって実験やフィールドワークなどを行い、自律的に学習を進める。自律的学習者の基盤となるのは、内省的な思考力（振り返る力）だ。経験したことを言語化し、そこから経験知を得て、次の行動を意識的に修正することができる。昨年度は、「スマホ依存症を克服する

興味あることを自律的に学ぶ

にはどうすればいいか」「レデ

ったりすることができた」「先生が自分のプロジェクトの進行が滞っているとき、的確なアドバイスを下さった」と振り返っている。仲間や教員と共に悩み、時には失敗し、試行錯誤しながら、自ら決

と、興味があったことなどを仲間との対話を通して振り返る。その中からプロジェクトの問いになりそうなキーワードを探し、自分や社会にとって価値がありそうな問いを立て、企画書を作成する。

自分表現する場があり、それを受け入れてくれる大人や仲間がいる。皆、自分がやりたいこと、学びたいことが分かっている。そこには、本物の学びがある。

吉崎 亜由美

桐朋女子中・高等
学校（東京都）教諭



また、M・セリグマンの「強みテスト」を用い、自分の強みから身に付けたい力を選び、ルーブリック評価表を作成する。そして、「学習履